
月夜の月

岩咲つばめ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月夜の月

【Nコード】

N0789I

【作者名】

岩咲つばめ

【あらすじ】

伽藍の堂内に住む鷹市怜は、表は人気カメラガール。本業は魔術師そんな彼女に二つの依頼が来た。一つは、謎の黒の組織からのとある人物の暗殺依頼。二つ目は、謎の黒の組織の破壊依頼。

それに関わるコナンと哀が…。

コナン×空の境界＋らっきよ側のオリキャラ。（らっきよの住人達が主です）

他の型月キャラも出す予定。

アーネンエルベは確実に出ますもちろん、ひびちかいます。

m e m o r y p a r t s (前書き)

自己満で書いている物語なので型月ファンの方には満足・納得する
ような作品ではありません、あしからず…。
オリ主あり注意

m e m o r y p a r t s

どうしてもって程じゃなかった：

あの時あの空

あの色あの花

あの時の草の青い香り

すべてをあのファインダー越しの空とアナタを取りたかった。

思い通り

ちゃんとした鮮やかな m o n o c h r o m e な写真という思い出

今更だけど、

あえて良かったと思うよ。

小さくて大きな探偵クン

今を大事にしなよ。

あの日から私の時計のベクトルが止まってしまった。
なぜ？

虚ろな記憶

思い出せない

いや、思い出したくはない。

ただ一つ、彼をファインダー越しに捉えシャッターを押したからと
しか答えたくは無い…

記憶が正しければ、彼との出会いは10年以上前の話だろうか？

アルバムに記された名と年月日。

私の膨大な記憶庫のアルバムには19××年4月7日ロンドン、ヨ
ゼフ園

鉛筆で書かれた工藤新一という名と工藤有希子。

撮影、八歳の自分

メモ

元大女ゆうさんといっしょにドラマにできました。

ああそうか…。

その時からか

私の未来は変わってしまったのかもしれない。

そうワタシ

鷹市怜一タカイチレイーは工藤新一をネガに焼き付けてしまったコトに人生が変わってしまったというお話。

。

――毛利探偵事務所

おはようございます！

4月15日（土）5時30分、全国的に学校や桜の名所では桜がち

ようど見頃です！

今日は特別ゲスト話題注目の学生カメラガールの鷹市怜さんが綺麗な桜の取り方を伝授してくれます！6時30分に放送します！

では、今日も1日頑張っていきましょう！スツキリモーニング、スタート！

♪

♪♪

テレビ番組の音を気にしつつ蘭は部活のため平日より早めに髪を整えて制服に着替え手慣れた手つきで三人分の朝食を用意し始めた。

ヤカンでお湯を沸かして、3合お米をシャッシャツとリズムよく研ぎ終えジャーにセットしあらかじめ出したキャベツ豚こま肉を使い味噌汁を作り始めふと時計を見ると6時になるところだった。スツキリモーニングの女子アナはもうじき6時、このあとは…と淡々と告げていた。

ザックリとキャベツを切り上げ沸騰した鍋に豚こま肉にダシの素を入れたらキャベツを入れてひと煮立ちしたら味噌を入れて火を止め、味見をして

「うん、よしできた！あとは…スキモの運勢ランキングを見てコナン君にお父さんを起こして部活へと！」

満面の笑みは窓からの朝陽を浴びてどこか天使に見えたのであった…
おきた

彼らの寝室のドアを勢いよくあけてだらしなく寝ている父の横に推理小説を抱えて可愛くそしてどこか新一と重なる寝顔に少し胸が痛くなる気持ちをのけて

「起きてほらあつ、コナン君！博士とみんなで桜見に行くんでしよう、あと鷹市怜さんゲストでスキモにでるよ、コナン君好きなんでしょう？ほらあ」

コナンはうつすらと開けた目は蘭を見ていた。嗚呼、いつかちゃんとしたカタチでこうゆう風に起こされたいと思った。

「んーうゝ、眠い。ねえ今何時なの蘭ねえちゃん…？」

簡単に6時ちよつと過ぎだよって言ってだらしない父にさっさと起きろとの意味と昨日の遅帰りの件を含め軽く腹にパンチを食らわせて、コナンに

「30分から鷹市怜さんやるからね。」

「ーうん、わかったよ蘭ねえちゃん今起きるよ」

「ぐあdfghj!!!!!!」

と小五郎が声にならない悲鳴をあげて起きると同時に

むくつとコナンが起き上がったのを確認した蘭はリビングのテレビ

を少し見て朝刊を取りに行った。

その間にコナンはパジャマから普段着になり急いで身なりを整えた
それもスキモを見るためにだった。

s a c r a

小さな頃、ガキの時に会ったきり、
彼女に渡せなかったコトバがあった。

『いつか——……お互いにピンチになったら助け合おうな!』
つて、言えなかった。

そして今、彼女は目の前の液晶に変わらない笑顔で映っている。
母さんが見たら、懐かしがるだろうなと思わず物思いにふけつつ、
俺はテレビに映る彼女をみた。

「おはようございます!! ゆかりんの事麻木ゆかです、見てくださ
いこの桜並木!!」

今日はスタジオを飛び出して桜の綺麗なこの新橋の公園に鷹市怜さ
んとお邪魔しています!」

「おはようございます、怜です。

今日は、フィルムカメラとデジカメを使って綺麗な桜並木と子供を
撮って行きたいと思いいんですがゆかさんはカメラは使った事はある
ますかー?」

「ケータイのカメラしか使ったことないですよー、怜さん私でも
使えるカメラってあります?」

「はい、デジカメでしたらキャノンEOS kissまたはー…

テレビの音に混じって奥のキッチンから蘭が「コナンくん、ご飯炊けたよー食べよー」

「はぁーい」

蘭のやつ朝練かぁ…。

にしてもいつまで、俺はこんな生活をするのだから…

いや、ネガティブになるな俺！と言いたい所だが今学期から小学2年生、組織の情報がつかめずに春になっちまったし、このままガキのままなのか俺は…？

「コナンくん、ご飯食べる前に難しい顔してどうしちゃったの？まだ、お花見の場所取りしていないの？」

難しい顔をしたコナンの前に蘭が、ご飯を出した。

はっとして我に帰ったコナンは、ううん何でもないよと言って食べ始めた。

毒に侵され小さくなった少年の小学生ライフは、

ある魔術師により

periodが打たれようとしているコトは、

いまだに、魔術師かしらない・・・。

一瞬、真っ白な空間に放りだされたように感じたコナンは、自分でもご飯を食べていた感覚がなく茶碗を見れば空になっていた。特集が終わり時計はもうじき7時になるところだった。

7時15分

「コナンくーん、お花見行くよー!!」玄関に、歩美と光彦と元太が立っていた。

予告より10分早めの迎えに少しコナンは戸惑っていた。

「おまえら、ちよつとまってるよ!」

おいおい、早すぎるじゃねえかよ!

「おい、ボウズ桜見に行くんだったらこれもってけ。それと桜の塩漬け言った通りに買って来いよ」

ほらよ、と言わんばかりにデジカメとお金を渡して言って来いとゴシゴシと頭を撫でた。

「わかった、おじさん蘭姉ちゃん行ってきまーす！」

「コナンくん、行ってらっしゃーい」

「コナンくん、今日のスキモ見た？歩美ね、怜さんみたいな綺麗な人にみんなの写真とってもらいたいなあー」

「見たけど、鷹市怜の特集か？」

「僕ですあっ見ました！！写真も上手いし綺麗だし、あー、僕一度でもいいからあってみたいなあー」

「俺は、興味ねえなあ……。だって、写真は食べれないし見てもあきちゃうぜ」

と元太が言うとコナンが元太らしいぜ！と笑った。

「そういえば、博士はどこに場所をとったんだ？」

「コナンくん聞いてなかったんですか！？桜の名所に頑張ってたみたいですよ、えーっと確か・・・あたらばしです！」

「あら、それ新橋のことかしら？」

目の前に立っていたのは、灰原だった。

歩きながら話していたためか、いつの間にか博士の家についていたのだった。

「哀ちゃん！今日は楽しみだね！歩美ね、いーっぱいお菓子もってきたんだよ！」

「そう、楽しみだね。」

「灰原さん、博士はどこですか？」

光彦が博士の車がないですけど・・・とつぶやいて首をかしげた。

「ガソリンを入れてスタンドに行ったわ。そろそろか帰ってくるハズよ」

数分すると、向こうからブロロロロロと博士の車が走ってく

るのがみえた。

博士の車が玄関の前に停車した。

「さあ、みんな乗って。目指すは鷹市怜さんが今朝収録した公園じやよ。」

「わあすごい！！博士どうやって場所をとったんですか！」

「それは、秘密じゃよ」

「ええー、もったいぶしないで下さいよお」

そんな、わいわいと博士の車は公園へと向かった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0789i/>

月夜の月

2010年10月23日04時49分発行